

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	姨捨棚田の保全と魅力ある観光地・景観づくり
事業主体 (連絡先)	姨捨棚田
事業区分	⑤環境保全・景観形成 ⑥ア産業振興 (特色ある観光地づくり・荒廃農地の復元)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,051,964 円 (うち支援金 : 788,000 円)

事業内容

キャンドルナイト in 姨捨の開催
ロウソク作り教室の開催と不用のロウソクの回収
棚田の景観や夜景を眺めるベンチの設置
棚田の景観等を題材の絵、写真等展示する掲示板設置

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① キャンドルナイト

試行的に行った H27 年度から 2 年目となり、キャンドルを使って棚田の景観に更に磨きをかけ、イベントの定着化を図ることにより、訪れる観光客の増を図ることができた。また、フェイスブックなど多くの媒体を使って、棚田の魅力を発信することができた。また、ベンチの設置等によりゆっくり景観を楽しんでもらうための設備の充実を図ることができた。市、耕作者グループなど多くの方の協力により、市民参加、協働、実行委員会での運営、開催の道が開けた。

② 棚田の荒廃防止と観光地づくりで農家の収入アップ

イベント等棚田での開催で、農家による米等の対面販売で米プラスαの収入が得られ、棚田での米作りの意欲と景観づくりの機運の醸成など、棚田保全の継続の足掛かりができた。

今後の取組み

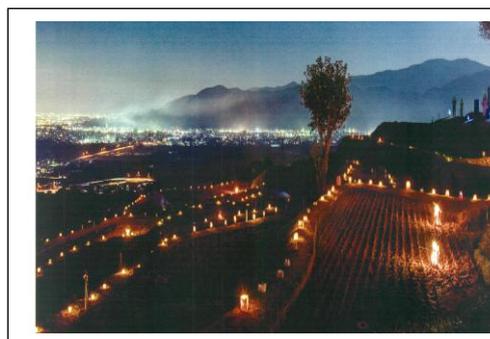
※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、キャンドルナイトを市と市が主宰する「棚田保全推進会議」等の構成員となっている棚田での米耕作グループなど、市民参加の協働によるイベント開催を呼びかけ、更に魅力ある棚田の景観保存と観光地づくりを継続的に行い、所期の目的が更に広がるようにしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【キャンドルナイト夜景】

目標・ねらい

- ① イベントでの集客と定着化
- ② 昼、夜棚田を訪れる観光客等増加
- ③ 市民等がいかに関心を持ち、棚田に対する愛着と誇りを持って保存、継承していくかの機運の醸成
- ④ 直売所設置で地元農家の収入増により米作りの継続と棚田保存活動の継続

※自己評価【A】

理由 イベント当日参加者だけでなく、市とも協力し、市広報やフェイスブックなどで広く宣伝ができ、姨捨棚田の宣伝が期待以上に効果が出てきている。